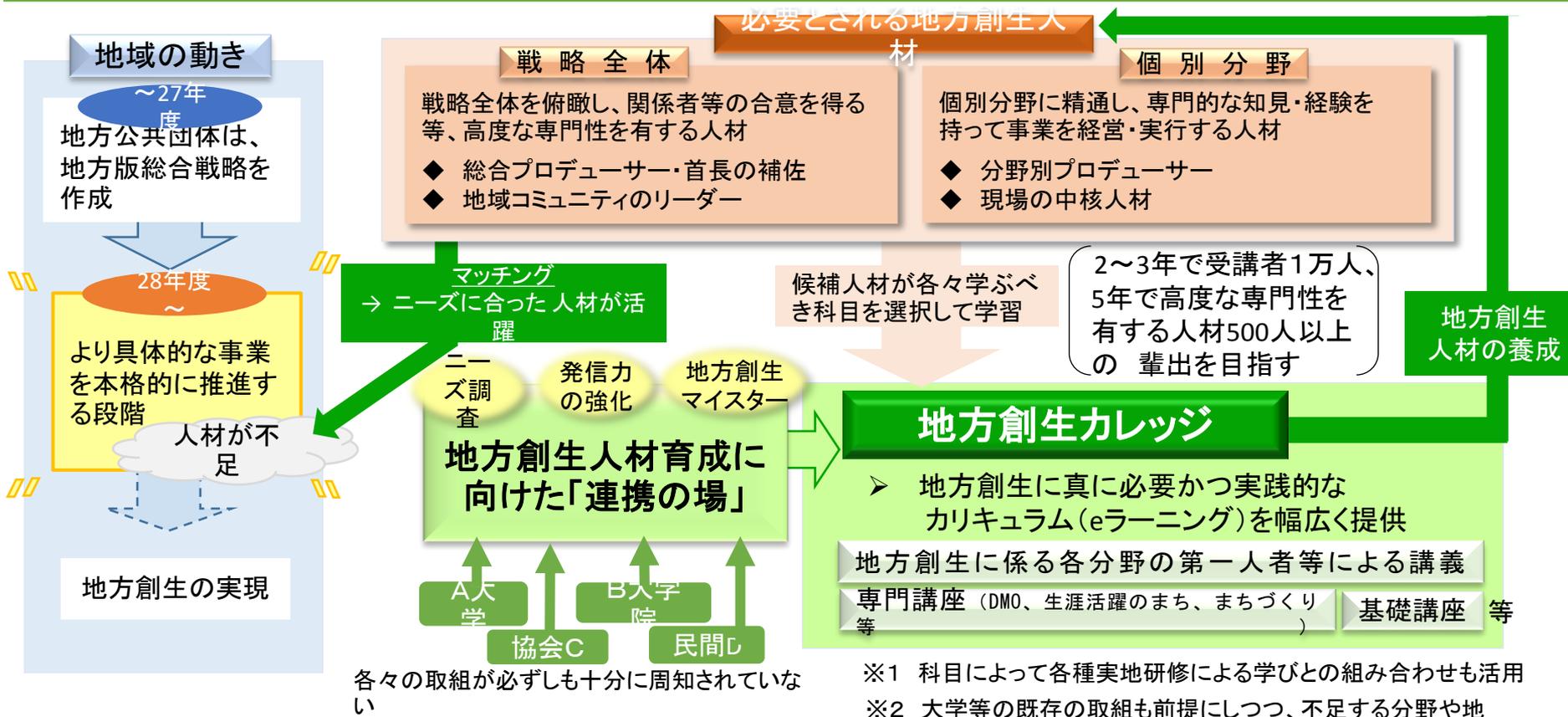


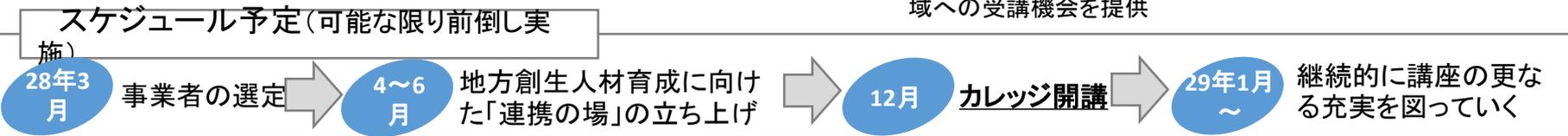
(別紙)地方創生カレッジ事業

- 現状** : 地方公共団体は、今後、地方版総合戦略に基づき、より具体的な事業を本格的に推進
- 課題** : 事業推進には、高度な専門性を有する人材等が必要となるが、地方では不足しがち
- 方向性** : ① 国が主導し、広く養成機関等の参加を得て、地方創生人材育成に向けた「連携の場」を形成
 ② 地方創生カレッジを創設し、地方創生に真に必要なかつ実践的なカリキュラムを整備するとともに、eラーニングにより幅広く提供



各々の取組が必ずしも十分に周知されていない

- ※1 科目によって各種実地研修による学びとの組み合わせも活用
- ※2 大学等の既存の取組も前提にしつつ、不足する分野や地域への受講機会を提供



(別紙) 地方創生カレッジのカリキュラムの全体構造イメージ

【基本的な考え】

- ・地方創生の深化に向けて、立場や機能に応じた実践的な内容を提供
- ・受講者の担うべき役割・経験、直面したフェーズなどに応じた選択受講が可能
- ・eラーニングを中心に対面・実地での講義・交流機会の提供や各教育機関との連携にも対応

【eラーニング分野】

【対面・実地】

基盤的知識・スキルを深め、役割・分野に応じて要請される専門性(他分野の知識も含む)を追求

分野別プロデューサー

観光・DMO

地域商社

生涯活躍のまち

小さな拠点

⋮

ケーススタディ

総合プロデューサー

総合戦略の策定・管理

事業の構築・推進・管理

資金調達の各種手法

地域産業の振興

⋮

ケーススタディ

地域コミュニティリーダー

住民自治

交流

⋮

ケーススタディ

専門編

スクーリング/
ワークショップ

育成人材と地域の交流・マッチングを図る

活動内容の情報交換を図る

地方創生関連事業を担う人材が基盤として備える必要のある知識、スキル、概念を学ぶ

地域戦略の策定

データ分析

地方の課題解決

事業の自立性・持続性確保(資金面含む)

地方創生の意義・理念

関係者との対話・調整

官民連携

事業戦略の策定

基盤編

基盤編、専門編、対面・実地を組み合わせることで、コースを設定

など